

はじめに

「一升瓶トリプルH改」

皆さんはこの言葉を聞いたことがありますか？

これは世界で唯一（自称です）私にしかできないオリジナルのバランス芸の技名です。

皆さんはじめまして。

私はマジシャン&大道芸人、略してマジ大道芸人HAMAR（ハマー）と申します。

マジ大道芸人の「マジ」にはマジシャンの「マジ」の意味とどんなことにも本気で取り組む「マジ」の2つの意味を含んでいます。

高校卒業後に就職をし、職を転々としながら25歳のときにプロマジシャンを目指し脱サラをしました。マジックとの出会いは2004年。

当時は空前のマジックブームでテレビ番組ではしょっちゅうマジックの特番が放送されていました。

前田知洋氏、ふじいあきら氏、ムツシュ・ピエール氏などのマジシャンが頻繁にテレビ番組でとても不思議なマジックをやっており、私は前田知洋氏がやっていたカード（トランプ）マジックにくぎづけになりました。

お客さんに1枚選んでもらいサインを書いてもらう。

そのサインカードを1組のトランプの真ん中に入れる。

真ん中に入ったはずなのに指をパチンと鳴らすだけで一番上に上がってくるというマジックです。

当時会社員で23歳だった私はまるで子どものようにテレビの前で「すげーすげー！」と叫んでいました。

数日後に当時ガラケーでまだ使い慣れていないインターネットを使い、そのマジックのやり方が解説されているDVDを発見したのですぐに注文し翌日にはDVDプレイヤーを購入。

こうして私のマジック人生が始まったのです。

ここからプロマジシャンを目指した経緯は後に本編で語りたいと思います。

ところで皆さんは「大道芸」というものをどこかで見たことがありますか？ よく勘違いされがちですが「ジャグリング」そのものを大道芸だと思っている方が多いのではないのでしょうか？

私も「大道芸」に出会うまでジャグリング＝大道芸だと思っていました。

そんななにも知らない私とジャグリングの出会いですがそれは意外な場所でした。

2009年、当時お世話になっていたマジックバーのマスターがなかなかの変わり者（悪い意味ではありません）で興味を示したことはなんでもやる方でした。

ある日マジックバーに到着すると狭い店内でマスターが椅子に座ったまま3個のボールでお手玉をしていたのです。少し借りてやらせてもらったところ、あまりの面白さに翌日には100円均一のお店でテニスボールを3個購入しこの日からジャグリング人生がスタートしたのです。

ちなみにですが、ジャグリングと大道芸を簡単に説明すると、ジャグリングはボールなどを複数個投げる「お手玉」のことで、

ボール・クラブ・ディアボロ・デビルスティック・皿回しなど、投げるジャグリング以外にもいろいろな種類があります。

そして「大道芸」と言えば、

街頭・駅前・路上などで通行人に足を止めてもらい芸を披露することです。

ジャンルはさまざままで、マジック・ジャグリング・パントマイム・紙芝居・バナナの叩き売りなど
こちらも種類はさまざまです。

私の場合はマジックとジャグリングになります。

その後、そこそこ人見知りでごくごく平凡なサラリーマンだった私がどうしてマジシャン&大道芸人になり人前に
立てるようになったのか。

そしてどのようにして世界で唯一（何度も言いますが自称です）のオリジナルのバランス芸を開発し多数のテレビ
番組に出演できたのか。

本書では私がサラリーマン時代に経験して感じたこと、脱サラ後にマジックとジャグリングを通じて出会った人た
ちやどのような経験・悪い経験があったのか。

どんな思いで大道芸人として活動しているのかななどを語りたいと思います。

まだまだ私自身夢を追いかけている立場ですがこれから夢に向かって挑戦をしてみようという方にとって少しでも
参考になればこれ幸いです。

2019年12月17日

マジ大道芸人 HAMAR

